

ポスター発表タイムテーブル 10月11日(日) 406・407・408号室

ポスター発表は3部構成です。各部のコアタイムには発表者が在席し、質疑に応じます。閲覧専用時間は自由にご覧いただく時間です。部の入れ替えでは、コアタイム終了後に貼り替えを行います。

時間	教室	発表者	発表タイトル
8:00-9:00	ポスター設営		
ポスター発表 1部 9:00-9:50	406	マーロー瑳良（慶應義塾大学）・高原亮（慶應義塾大学）・貴田航（立教大学）・宮田真有（社会人）	大学院生のメンタルヘルス問題：解決のための具体的提言に向けて
	406	坂本哲大（上智大学）	N.フレイザーの「普遍的ケア提供者モデル」に対する批判的検討：「ケアの倫理」理論を手掛かりに
	406	堀合愛梨沙（大阪大学）・坂尾蒔日花（東京大学）	告白の言語行為論
	406	小池尚輝（北海道大学）	「独りでいること」の再考：「独りでいられる状態」に注目して
	407	清水あおぐ（桑沢デザイン研究所）	アートとデザインの線引き問題に答える
	407	星野将来（放送大学）	＜生活世界＞概念に基づく＜自然な自明性＞の理解：フッサール、ブランケンブルクの論から
	407	高橋 伸太郎（北海道大学）	道徳的理解とはいかなる心的状態なのか
	407	徳永秀人（千葉大学院）	人生の意味と存在意義：期待される回答の条件からのアプローチ
	408	谷島 要（法政大学）	論理的規約主義と論理的観念論：Richardsonの含意論証はWarrenに及ぶか
	408	立入創（京都大学）	（発表者のご意向により題目は非掲載）
	408	清川哲太（専修大学）	ベナセラフのジレンマとは何であったか
9:50-10:20	閲覧専用時間（1部）		
10:20-11:00	貼り替え（1部撤去・2部設営）		
ポスター発表 2部 11:00-11:50	406	渡邊駿太（早稲田大学）	デリダと推論主義：『声と現象』におけるフッサール批判からブランダムとの比較へ
	406	秋山知久（神戸大学）・草地栄紀（無所属）	自閉症スペクトラム障害に見られるカモフラージュの特徴について
	406	三浦隼暉（東京都立大学）	反復される予定調和：ホワイトヘッド『過程と実在』における物的目的の形成
	407	小田花茄乃（東洋大学）	身体性認知における表象概念：エナクティブアプローチと拡張性認知において
	407	平石千智（学習院大学）・イソヨン（学習院大学）・小川鼓々（学習院大学）	哲学対話における安全性と開放性：PhiloLAB0 for Womenの実践から
	407	布施哲朗（大阪大学）	レヴィナスとイリガライ：その〈フェミニスト的解釈〉について
	408	松井晴香（無所属）	エッセイを哲学するための試論
	408	花澤創一郎（東京大学）	いかにラカンを読むか。：ジャック・ラカン研究に向けて
	408	村田龍翼（名古屋大学）	理由と責任：「知識は心的状態である」を導く新たな論証
11:50-12:20	閲覧専用時間（2部・昼休み）		
12:20-13:00	貼り替え（2部撤去・3部設営）		
ポスター発表 3部 13:00-13:50	406	安藤さくら（大阪公立大学）	戦争において民間人の権利はいかにして乗り越えられるのか：「二重結果の原則」の批判的検討
	406	大須賀良亮（千葉大学）	存在論は失敗したプロジェクトなのか？：ハーシュの存在論的デフレ主義とその存在論的含意
	406	高橋菜穂（大阪大学）	カッシーラーの実体概念と関数概念を再構成する—エネルギー論と原子論の展開から—
	407	宮崎 あまき（ドルトン東京学園）	「純粋な喪失」はいかにして可能か：バタイユにおける「蕩尽」と「共同体」のアポリア
	407	高原亮（慶應義塾大学）	バーナード・ウィリアムズのオペラ論と系譜学
	407	藤野竜多（東京大学）	カントの定言命法は肯定的に理解可能か——応用的問題にも照らしつつ——
	408	小川知哉（大阪大学）	ザラザラな倫理：道徳上の運における懐疑論に対して
	408	中村陽太（東京大学）	歴史的動態としての知識：実在と探求をめぐるマクダウェル、カント、パース
	408	塩谷遼真（東京大学）	選択肢の多様性とはなにか：価値中立性と卓越主義に注目して
13:50-14:20	閲覧専用時間（3部）		
14:20-15:00	ポスター撤去（3部）		